

「住民の方との対話」を目的に、まちかどインタビューを掲載しています。

町の体育館で元気にプレーしている皆さんにお聞きしました。
○ソフトバレーボールのはじまりは？
平成8年に町連盟を設立、冬期間のリーグ戦を開催、現在は参加チーム56チーム、約500名が参加しています。
「子供から老若男女、誰でもできる生涯スポーツ」として「安全で、やさしく、楽し

く、そしてみんなで」を言葉に、諏訪地方では当町が一番普及しています。
○ベストミックスの生い立ち
チーム結成は平成6年、一部メンバーは変わっていますが、74歳を筆頭に、平均年齢が67歳、7名の男女で若い人達に挑戦しております。
毎週土曜日の夜、町体育館での練習では、和気あいあい、



富士見区の
窪田三朗さんを代表とする
ベストミックスの皆さん

生涯スポーツ
ソフトバレーと共に20年



○町と議会に注文は？
町も財政難の折、近代的体育館の新設は無理でもせめて、器具の取替え、特にネットを張るボールの取替えと取付の安定化をお願いしたい。
町政については、町開発公社が運営するパノラマスキー場の再建計画ですが、町議の皆さんは、よくご理解され進めていると思われるが、私達のような町民にはよく理解できない点があり心配です。
町議の皆さんには、一般町民にわかりやすく、誤解のないような説明をお願いします。

笑いが絶えません。
一年でも長くこのメンバーで続けたいと思っています。

編集後記

今年もまた待ちどろしい春が巡ってきた。学校にはピカピカの新生入生が、希望に胸をふくらませて登校した。

ところで、いよいよ来年4月に中学校が統合することになった。全町の子供が一つの校舎でともに勉学し、課外活動に励む。同じ目標をきっかけに皆なでそれにまい進する。そこから新しい歴史が芽生え、そして50年以上かかったが、これでようやく4カ村の合併のかたちが完成することになるだろう。

私たち町民にはこの機会に、かの4カ村の合併とは、一体なんだったのか、富士見町とはなにか、隣人とは、友人とはなにか、もう一度初心にかえって見つめなおすことが重要ではないだろうか。

(小林 光)

■議会広報編集委員会

編集委員長 小林 光
副委員長 名取 武一
委員 エンジエル千代子
織田 昭雄

ふじみ議会だよりは、議会ホームページにも掲載されています。